

# 地域の元気は みんなの元気!

はじめに

堺市社会福祉協議会では、

「企業で地域貢献活動をしたと考えている」

「地域のためになる活動を行いたいが、何をすればよいかわからない…」

「現在地域ではどのような活動があるのか知りたい」

など、企業や法人からのお問い合わせが増えてきています。

一方で地域のみなさんからは、

「自分たちだけでは活動が難しくなってきた」

「誰か応援してくれるところがあればうれしい」などの相談も増えていきます。

企業/法人のみなさまの「やりたい」想いと、地域組織や当事者の「足りない」部分をつなげたい!

そんな想いを込めて、この冊子の発行に至りました。



## 企業/法人が地域貢献活動をするメリット!

信頼度  
アップ!

地域のみなさんと顔の見える関係になることができ、信頼を深めることができました!

知名度  
アップ!

企業の想いや自社の取り組みなどを知ってもらう良い機会になりました!

働きがい  
アップ!

地域のみなさんの笑顔や感謝がうれしかったです。日々の業務でもがんばろうと思えました!

新たな発見があるかも!

地域との関係を持つことでみなさまの新しいつながり、チャンネルに!

実際に行った後の企業からの声

地域福祉を推進する営利を目的としない公共性の高い民間組織です。通称「社協」と呼ばれ、社会福祉法に基づき設置されています。

つながる・ひろげる

みんなで支えあう“地域福祉”をめざして

堺市社会福祉協議会の役割

地域福祉の総合的な推進

くらしを  
まもる  
【直接支援】

つながりを  
つくる  
【間接支援】

地域福祉を  
つくる  
【調査研究・企画開発】

【専門性】【組織力】

## もくじ

地域の現状と悩みごと 3

企業/法人としてできる地域のための貢献活動って 5

～事例紹介～

事例1 寄付や善意が「くらし」をまもる 企業/団体からの食材寄付 7

事例2 働く人(企業/団体)が「働きたい人」を応援する はたらく応援プロジェクト 8

事例3 企業の「あるよ!」と地域の「ほしい!」をマッチング なじみの場所は広がる場所 9

事例4 企業の「できます!」と地域の「困った!」をマッチング 企業と地域、想いは同じ 10

事例5 空きスペースがつながるプラットフォームに 商店街をボランティア活動の発表フィールドに 11

事例6 小さな応援が大きな原動力へ 企業/法人の応援に感謝! 地域からのありがとう! 12

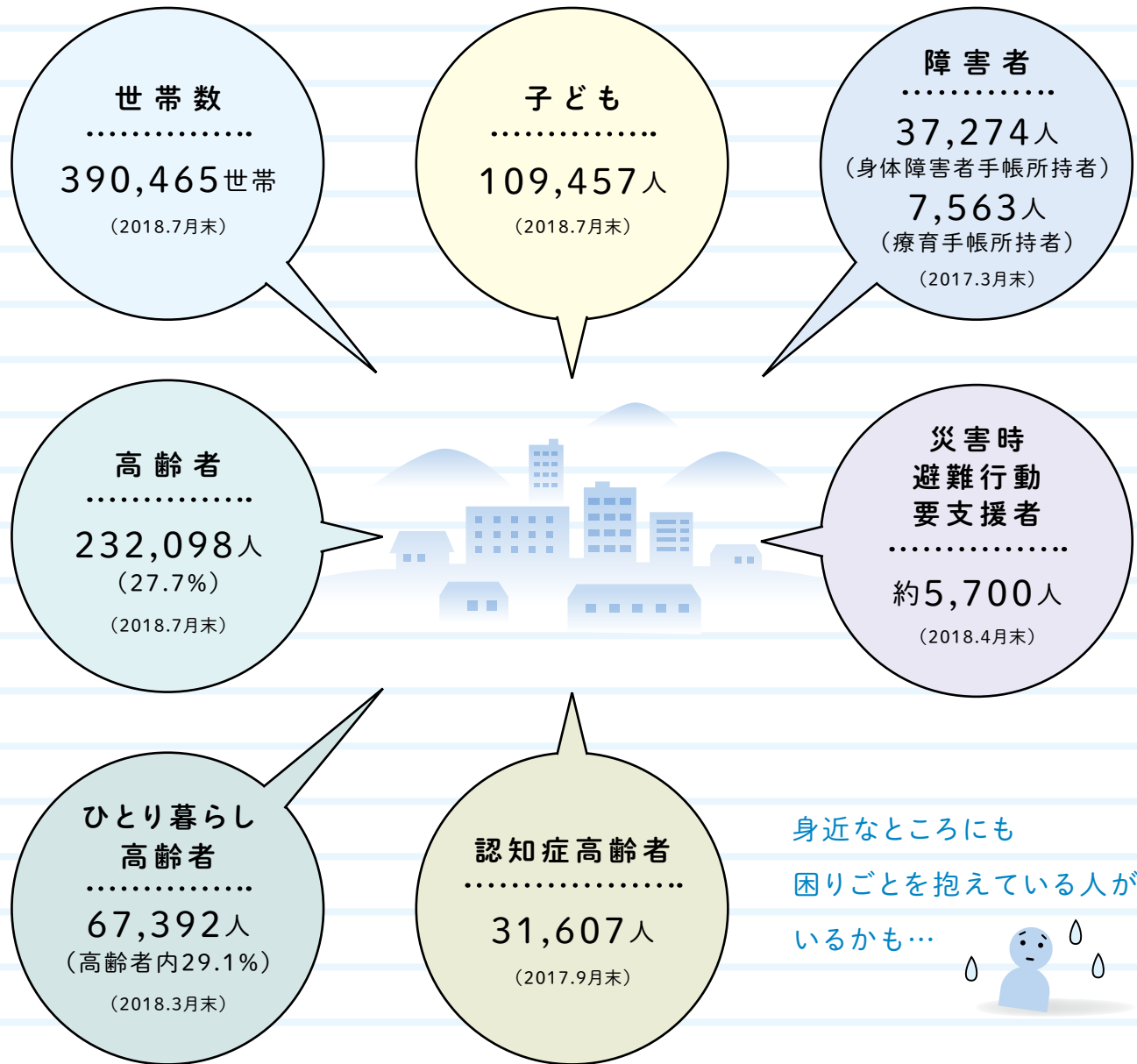
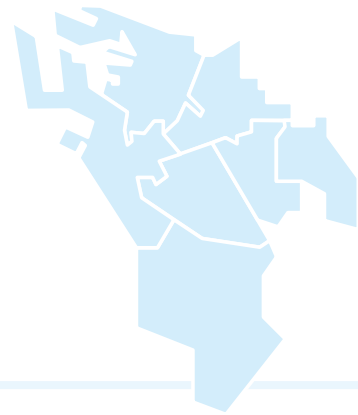
コラム「社会貢献都市“堺”をめざして これからの地域づくり」 大阪府立大学 小野達也 先生 13

相談窓口のご案内 14

## 堺市はこんなところ…

○人口80万人以上の政令指定都市

核家族化や高齢化が進み、  
世帯構成や暮らし方が少しずつ変化しています



厚生労働省統計データ、堺市統計データ等を基に作成

孤立することでの生活課題が見えてきています



予防・解決

小学校区単位で広がる地域福祉活動

## つながりづくり

**地域福祉活動**  
校区福祉委員会  
自治会  
民生委員会 など

堺市では92小学校区で  
各地域団体による多種多様な活動が  
取り組まれています。

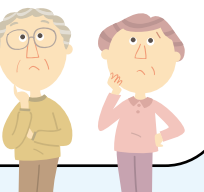
子どもから高齢者まで、広い世代を対象にした活動を実施中！  
つながり合うことで、一人ひとりの暮らしに安心が生まれています。

1つの小学校での  
地域福祉活動の実施数  
： (平均)  
(平均回数(年間)  
約130回)  
(参加者数(年間延べ)  
約2,800人)



お互いを支え合う活動がこれから一層大切に!

…一方で活動者は様々な  
悩みを抱えています

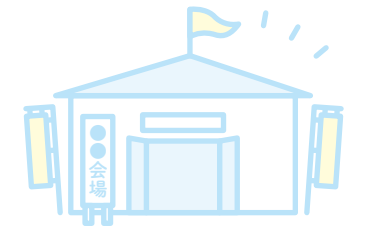


例

地域の活動者が抱えている主な悩みごとは個人・少人数という小さな単位での活動にありがちな「ヒト」「場所」「モノ」「コト」「カネ」に関するものがほとんどです。ここではその悩みごとに対して企業 / 法人ならではの取り組み例をいくつかあげてみました。

スペースの提供

- 空きスペースを地域住民に開放し、集える場として提供
- NPOやボランティアグループなどのイベント、講座などの会場となる場所を提供する
- 障害のある人たちの作業所などが出店できるような場所や機会を提供する



活動する場がない…

発表の場がない…

マンネリ化している…

中間的就労の場がない…

活動すればするほどお金がない…

人手が足りない…

個々の持ち出しが厳しい…

地域活動者の悩みごと

ヒト

コト

モノ

カネ



人材による支援

- 地域のイベントのお手伝いをする
- 住民交流のイベントを企画 / 開催する
- 福祉施設が主催するイベントへの協力をする
- 一人暮らしの高齢者のご自宅で簡易な作業をお手伝いする



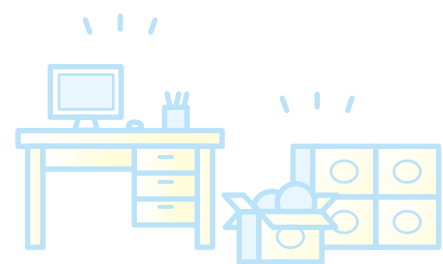
コトの支援

- 宣伝協力（提示 / 印刷）を行う
- 参加者向け出前講座を開催する
- スタッフ向けスキルアップ研修を実施する
- 健康増進プログラムを提供する
- イベントの際に出店する
- 移動販売を行う
- 中間的就労 / ワンコイン就労の場を提供する



物品の提供

- 企業で製造しているモノやグッズを市民活動団体や福祉施設などに提供する
- 在庫商品を地域バザーへ提供し、収益を寄付する
- 不要になった事務用品を寄付する
- 企業が主催・協賛するイベントなどへ地域活動団体を招待する



資金的な支援

- 社会貢献や福祉活動への寄付を募る基金を設立する
- 支援したい分野やテーマで団体を公募し、助成金を提供する
- NPOや地域の団体が行うイベントへの協賛をする
- 活動を応援する募金箱を設置する







# 企業 / 法人の社会貢献で地域を元気に!

地域が元気になることが  
同じ地域で活動する企業 / 法人にとっても  
プラスの効果をもたらします

事例紹介

## 事例 1

寄付や善意が「暮らし」をまもる

### 企業 / 団体からの食材寄付

～生活困窮者への緊急支援～

#### 【目的】

- 生活困窮者のいのち・暮らしの危機を回避するため
- 生活再建に向け継続した援助関係を構築するため

#### 【対象】

社協が相談にのって支援している方で、生活再建を図るために概ね2週間の緊急支援が必要な世帯

#### イメージ

### 緊急支援 / 食料提供・物品貸出

#### 善意・寄付

- ふーどばんくOSAKA
- いずみ市民生活協同組合
- NPO・市民活動(団体・個人)

年間助け合い運動で  
寄付受付

堺市  
社会福祉  
協議会

すてっぷ・堺 相談支援員

#### 余剰・活用

- 災害(訓練)時等に活用
- 別団体(ホームレス支援団体等)へ再寄付

#### 緊急食料の提供

他団体からの寄付等で  
調達した食料(米、缶詰等)を  
提供する

生活困窮者

#### 生活物品の貸出

滞納等によりライフラインが  
遮断される状況に対して、  
災害用の生活物品(寝袋、  
ランタン、カセットコンロ等)を  
貸し出す

#### メッセージ

### PRグッズ・余剰物品などの提供にご協力を!

生活困窮者自立相談支援事業(すてっぷ・堺)では、様々な理由で生活にお困りの状態から自立をめざす方に対して、「相談支援」「就労支援」をしています。就職してもうすぐお給料がもらえるけどそれまでの数日間の食料がどうしても足りない…。そんな時に、ご寄付いただいた食材・食料のおかげで、本人の暮らしをまもることができました。缶詰やレトルト食品、お米、防災食品(アルファ米・缶詰パン)などで、年間40件ほどの支援を行っています。

防災グッズの見直しの時期や企業のPRグッズの余剰物品などがございましたら、ぜひ、ご協力ください。



## 事例 2

働く人(企業/団体)が「働きたい人」を応援する

### はたらく応援プロジェクト

～社会参加の機会をつくりだす取り組み～

#### イメージ

場所の提供

職場見学  
職場体験

就労体験

中間的就労  
プログラム

求人情報  
(トライアル)

#### 居場所

- ◆室内作業
- ◆エコキャップ洗浄
- ◆就労セミナー

#### 見学・体験

- ◆ボランティア活動
- ◆職場見学
- ◆就労体験

#### 中間的就労

- ◆就労訓練(非雇用)
- ◆ワンコイン就労
- ◆支援付き就労(雇用)

セミナー  
講師

作業の提供  
(清掃・仕分け)

セミナー

ボランティア  
保険料

貸出スーツ

就労グッズの  
寄付・貸出

ワンコイン  
就労(洗車)  
など

#### コラム

### 社協が行う生活支援

堺市社協では、地域で様々な困りごとを抱える人たちが自分らしく豊かな生活を送るために「暮らしをまもる」取り組みを行っています。社協内にある専門的な支援機能を駆使して、地域の関係機関や地域団体等と連携しながら、だれもが地域の中で孤立せずに自立した生活を送れるよう「地域共生社会」をめざしています。とくに、社会参加の機会をたくさんつくりだすことを目的に、地域の民間企業や社会福祉施設、ボランティア団体からのご協力(吹き出し部分)をお待ちしています。



#### 生活支援課

- 生活困窮者自立相談支援事業
- 日常生活自立支援事業
- 生活福祉資金の貸付
- 権利擁護サポートセンター

#### 社協区事務所

- 基幹型包括支援センター
- 日常生活圏域コーディネーター

事例 3

企業の「あるよ!」と地域の「ほしい!」をマッチング

### なじみの場所は広がる場所

～まずは知ってもらうところから～

#### 場所あるけど、もったいないな～

- イベントスペースはあるけど、毎日使っていない
- 休憩スペースになっていて、高齢者などはよく集まる  
→何か地域貢献できないものか…

企業社員

#### 住民への理解を広げたい

- 福祉の課題: 知らん・わからん…  
→情報を知らないが故に対応が遅くなることも…
- 既存の回覧板等の発信だけでは伝わりきらない  
→人が多く集まる場所で情報発信を行いたい…

支援者

マッチング!

### スーパーのイベントスペースを活用して「認知症サポーター養成講座」を開催



認知症の情報を知らなかった  
正しく理解することができた

スーパーに来るついでに  
参加できてよかった

認知症は  
他人事ではない!

堺市では  
認知症高齢者が  
30,000人以上  
高齢者の4人に1人は  
認知症予備軍



#### 店舗としてもメリットがあった!

もしかすると認知症かな?  
と少し気になるお客様が最近多く、  
スタッフも困ることがあった。  
店舗内で講座を行ってもらえると、  
スタッフも参加しやすく、  
お客様への対応の質も向上できる

企業社員

#### たくさんの人に聞いてもらえた!

「買い物のついでに…」  
日常生活上の場所で開催することで、  
参加へのハードルを下げることができた。  
役所や施設ではなかなか参加してもらい  
にくい年齢層の方の参加にもつながった



支援者

事例 4

企業の「できます!」と地域の「困った!」をマッチング

### 企業と地域、想いは同じ

～共通の“コト”へ向けて～

#### 地域とどうつながったらいいの?

地域貢献として地域住民への  
「健康に関する教室」ができる。  
けど…単独で行くと地域から  
「企業はちょっと…」と断られる…

企業社員

#### 最近活動がマンネリ化している…

毎回プログラムを考えるのが大変で、  
同じことが多い。  
すると参加者も少し飽きてきている様子で、  
人も減ってきている…

支援者

マッチング!

### 地域活動へコトの提供!

WinWin実現!

企業社員

支援者

企業を知って  
もらうことができた

笑顔を見て  
モチベーションが  
あがった

来た人に  
よろこんでもらえた

参加者が  
増えた!

普段できないことが  
できてよかった

実践  
事例



老舗企業 × 「子ども食堂」  
(株)つば市製茶本舗



お茶の町「堺」に育つ子どもたちにお茶を通じて人が繋がる体験と、心身の健康を提供することを目的に「つば市子ども食堂プロジェクト」が発足。

- 堺市社協が仲介し、子ども食堂でお茶体験プログラムを実施。
- 五感を使った体験活動として、子ども食堂実施者や、参加者の子どもからも好評を得ています。



# 空きスペースがつながるプラットフォームに 商店街をボランティア活動の 発表フィールドに

～商店街の賑わい創出とボランティア活動発表の場づくり～

## かつての賑わいを取り戻したい

- 商店街内にコミュニティスペースを作るなど新たな集客に工夫
- 独自にイベントを開催するが集客が難しい
- 商店街のおもしろさや可能性を発信し、新たな顧客を発掘したい

## 活動を発表する場がほしい

- ボランティアグループの高齢化によるメンバー減少(ボランティア連絡会)
- 活動希望者と活動のマッチングがうまくいかないケース(社協)
- 活動の見える化のためにイベントを開催したいが場所がない
- イベントを開催するにも単独開催では新たな掘り起こしになりにくい

堺山之口商店街

マッチング!

堺区さかいボランティア  
連絡会(堺市社会福祉協議会)

## 堺区ボランティアまつりを 商店街のアーケードで開催



障害者作業所  
ネットワーク  
活動啓発  
自主製品の販路拡大

ロータリークラブ・  
銀行  
社会貢献(資金面での協賛)  
広報活動

いざイベントが決まると「実は…」とコラボの輪が!

## 実践事例

### 堺区ボランティアまつり in 山之口

堺山之口商店街と堺区さかいボランティア連絡会が繋がることで始まったこのイベントは、活動啓発の機会を欲していたエールDEねっと(堺区障害者作業所ネットワーク)や、成果が見える形での社会貢献を考えていた堺フェニックスロータリークラブ、株式会社紀陽銀行など、コラボの輪が広がりました。



- イベントではボランティア同士がお互いの活動を再認識し繋がり合う場になり、たまたま商店街に買い物に来た人がボランティア活動を始めるきっかけになるなど、ボランティアを魅せる良い機会になりました。
- 今では商店街のコミュニティスペースを活用した「堺ヤマノクチ大学」や「ゆやっ子食堂(子ども食堂)」が開催されるようになるなど、商店街が近隣住民の居場所(集いの場)としての機能を新たな形で取り戻しています。



小さな応援が大きな原動力へ

# 企業 / 法人の応援に感謝! 地域からのありがとう!

## 施設の強みを 活かして 地域活動を応援!

活動者の  
困りごと

子どものための集える場をつくりたい  
小学生が集える場が地域内にも少なく、世代間交流も薄いため、多世代がつながれる場をつくりたい…

運営費の確保に困る…

地域内で多様な活動を展開しているため、補助金では足りない状況。継続した運営費の確保が難しい…

応援者  
社会福祉法人  
稲穂会

応援策として…

- 施設の空きスペースを提供し、活動を実施
- 施設の入り口に募金箱を設置



集まる額が少額でも応援してもらっているという実感がモチベーションになります!(活動者)



活動者の  
困りごと

1回目を成功させて軌道に乗りたい  
初めて開催する活動で、「また来たい」と思ってもらえるような雰囲気をつくりたい…

地域のボランティアだけでは限界…

様々なプログラムを用意はするが、手作りのものだけになってしまう。遊び要素をもう少し高めたい…

地域の事業所として  
地域活動をお手伝い  
イベント用品の貸し出しや  
食材提供を  
行います!

応援者  
株式会社  
フロンティア

応援策として…

- イベント用品の貸し出しや食材を提供
- マンパワーとして活動へ参加



イベント用品や食材が地域の役に立ってうれしかったです!(応援者)

## コラム 企業の地域貢献。。。あるあるエピソード

### 「営業活動はやめてっていったのに!」

ある企業が地域向けに健康教室を開いた際、商品の申込み用紙と一緒に配布し希望者にその場で記入してもらっていました。すると「やっぱり契約させられるんか!」「来えへんかったらよかった」と他の参加者から声があがり、せっかくの場が台無しに…。

せっかくの貢献活動なのに、営業活動に見える行為で、企業価値を下げてしまう恐れがあります。意向はその場では取らず、後日希望者から連絡してもらうような促しが必要です。





# 社会貢献都市「堺」をめざして これからの地域づくり

## 小野達也 先生

大阪府立大学 人間社会システム科学研究科  
教育福祉学類 博士(社会福祉学)

ボランティア推進機関、市民団体での活動後、30代半ばで大学院で学び、  
熊本学園大学を経て、2005年に大阪府立大学へ。  
専門は地域福祉、ボランティア活動、NPO等、住民・市民の側からの地域福祉の構築をめざす。



## 企業と福祉の新たな可能性へ —— 社会貢献への期待

2000年以降、「地域福祉が主流化」したとされています。そして今や「地域福祉の政策化」の時代に入っているとも言われています。政策として「我が事・丸ごと」という掛け声により「地域共生社会」が目指されています。ただし、地域福祉は国の政策だけでなく、現場である地域での取り組みがあってはじめて実現するものです。

地域福祉の主流化・政策化の時代に重要なのは、多様な実践者・主体の存在です。政府や行政は法律や制度の整備を進めることはできますが、地域の特性に応じた対応を取ることは不得手です。地域福祉を進めていくためには多様な主体が福祉に関わることが求められます。これまであまり地域福祉と関係しなかった人たちが団体、機関が地域実践に関わることが期待されています。

堺市は、もともと地域の住民活動が盛んです。しかし、少子高齢化を背景にさまざまな問題が地域で発生してきています。主要な担い手である住民の高齢化が指摘され、若い世代の地域へのかかわりが求められています。

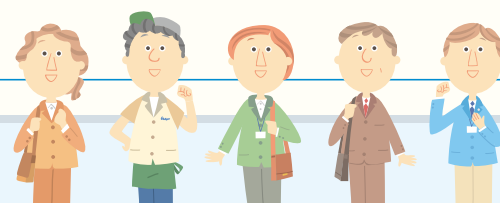
企業の社会貢献・地域貢献に対する期待の背景にはこうした社会動向があります。そのなかで、企業の側からも社会貢献や地域貢献に関する関心や取り組みが生まれています。2017年に大阪府立大学(ボランティア・市民活動センター)が実施した堺

市内の企業や社会福祉法人等を対象とした調査(堺市における社会貢献・地域貢献に関する基礎調査)では地域貢献への高い関心が示され(89%)、実際に多くの法人が何らかの貢献活動を行っています(82%)。しかし、その一方で企業から、人員の不足、時間の不足、機会の不足が指摘され、どのようなことをすればよいかわからないという声もありました。こうした現状や課題を共有するところから貢献活動を進めていくことが求められています。

企業への期待としては、地域づくりの担い手として現役世代が働いている場であるということや設備、備品、場所等さまざまな諸資源があること、事業分野にかかわる専門性を持っていることなどさまざまです。こうした期待に応える貢献活動への取り組みは、企業の持っている秘められた可能性を新たに開花させるものです。

現在、社会的な格差が広がる中でさまざまな社会的排除が生まれてきています。福祉が最低限度の生活保障という方向と幸福の追求という方向に「二極化」しているという指摘もあります。この状況を固定化してしまうのではなく、幸福の方向に向けて両者を架橋していくことが必要です。その実現のためには企業の社会貢献活動が欠かすことができません。

企業と福祉の新たな姿を創っていきましょう。



## 相談窓口のご案内

午前9時～午後5時30分(土・日・祝日を除く)



〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1 堺市役所本館内  
TEL.072-226-2987 FAX.072-226-1952



〒599-8236 堺市中区深井沢町2470-7 中区役所内  
TEL.072-270-4066 FAX.072-270-4088



〒599-8112 堺市東区日置荘原寺町195-1 東区役所内  
TEL.072-287-0004 FAX.072-287-0444



〒593-8324 堺市西区鳳東町6-600 西区役所内  
TEL.072-275-0255 FAX.072-275-0266



〒590-0141 堺市南区桃山台1-1-1 南区役所内  
TEL.072-295-8250 FAX.072-295-8260



〒591-8021 堺市北区新金岡町5-1-4 北区役所内  
TEL.072-258-4700 FAX.072-258-4770



〒587-8585 堺市美原区黒山167-1 美原区役所内  
TEL.072-369-2040 FAX.072-369-2060



〒590-0078 堺市堺区南瓦町2-1 堺市総合福祉会館内  
TEL.072-232-5420 FAX.072-221-7409

企業 / 法人

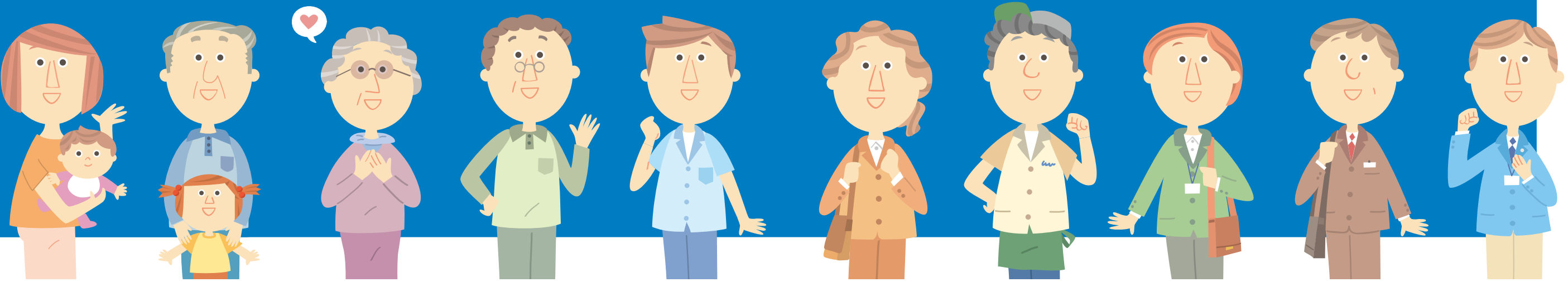
だからできる  
地域貢献  
ハンドブック

発行：  
平成30年9月  
社会福祉法人 堺市社会福祉協議会 / 堺市

問合せ：  
堺市社会福祉協議会（事務局）  
〒590-0078 堺市堺区南瓦町2-1  
TEL.072-232-5420  
FAX.072-221-7409

企業 / 法人

だからできる  
地域貢献  
ハンドブック



社会福祉法人 堺市社会福祉協議会

企業 / 法人のみなさまの地域への取り組みを応援します！